

セネガルとガンビアの公用語

在セネガル日本国大使館
(ガンビア兼轄)

セネガルに四方を囲まれているガンビアは旧宗主国が英国であるためセネガル（公用語は仏語）とは異なり英語が公用語の国です。

1982年には、セネ・ガンビア国家連合が発足され、将来に向けた両国の統一も期待されましたが、主に公用文書の言語問題で両国統一が困難となり、1989年に連合を解消しました。

他方、セネガル人は主にウォロフ語、ガンビア人はマンディンゴ語とそれぞれ独自の現地語を使っていますが、ほとんどのガンビア人がウォロフ語を話すことができます。セネガル及びガンビアは両国とも西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）加盟国であり、査証が不要のため、一般住民は頻繁に両国間を行き来することが可能であり、一般市民の間では言語による障害は非常に少なく、たとえ公用語の問題があっても、両国の国民はこれまでも友好的に交流を行ってきました。

(了)